

今月号の特集テーマは「代謝異常症」です。皮膚は内臓の鑑と言われることがあります。皮膚症状を契機に代謝異常症のような全身疾患が見つかることがあります。私も入局1年目のときに、乏汗症を主訴に皮膚科を受診した患者さんが、精査の末に Fabry 病の診断に至った症例を経験しました。背部に1つ小さな血管腫はありましたが、典型的な被角血管腫ではありませんでした。当時は対症療法しかありませんでしたが、現在では酵素補充療法なども行われるようになり、治療の進歩を感じます。本号では10編の代謝異常症の症例報告が掲載されています。日常診療に是非お役立ていただければ幸いです。

編集後記では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の現況についても記載してきました。最近（1月15日現在）、COVID-19の状況は比較的落ち着いているようですが、COVID-19が猛威を振るっていた頃には目立たなかったインフルエンザが増えているようです。やはり基本的な感染対策は（特に病院内では）必要と言えるでしょう。

話は変わりますが、「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2024」が日本皮膚科学会雑誌の2024年10月号に掲載されました。アトピー性皮膚炎診療ガイドライン（ADGL）2024はADGL2021の改訂版であり、原則として2023年10月末まで国内外で発表されたアトピー性皮膚炎に関する新しい知見を加えて作成されました。今回のガイドラインで新たに記載された薬剤は、抗炎症外用薬としてのジファミラスト、中等症以上の難治状態に対する治療としてのネモリズマブ皮下注、トラロキヌマブ皮下注、ウバダシチニブ内服、アプロシチニブ内服の5つです。

治療の最初のほうの「治療方法」の項目で「アトピー性皮膚炎の診断治療アルゴリズム」を記載し、治療の全体像を概説しました。また、治療においては患者に疾患と治療の目標（ゴール）を説明するだけでなく、共有することの重要性を強調し、shared decision makingに繋がるようにしました。なお、2024年11月以降に承認された薬剤であるタピナロフ（AhR調整外用薬）とレブリキズマブ（IL-13抗体）の内容を記載することはできず、次回改訂を待つことになりました。今後も定期的に改訂していく予定です。

（佐伯秀久）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第67巻 第2号 2月号

2025年2月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 50,160 円（本体 45,600 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。